



9月12日(火)

## この時のため

聖書朗読 エステル 4：9～17

あなたがこの王国に来たのは、もしかすると、この時のためであるかもしれない。  
エステル 4：14

今日、こんなことがありました。食料品店から出ようとしたとき、ハンディキャップを持った紳士が、買い物の食料品を自分の車に入れようとしていました。彼の横を通り過ぎたとき、「彼に手を貸すために立ち止まろうかしら」という考えが起りましたが、でも、すでに通り過ぎてしまっていたので、自分の車に向かって進み続けました。そして、罪悪感が残りました。

「この時のためかもしれない」という機会がわかるのが、難しいときがあります。お祈りと自分の周りの人たちを意識することは、このような機会をもっと頻繁に捉える助けになると思います。

1週間ほど前のことです。ガソリンスタンドで、一人の若い女性が私に近づいてきて「ガソリン代がなくて家に帰ることができないので、家までのガソリン代を貸してほしい」と言いました。最初に直感的に思ったことは、彼女を追い払うことでしたが、私はそうしないで、彼女に20ドルを渡しました。彼女はとても驚きました。もちろん、ガソリンスタンドを出てから、私は自分のしたことを分析し始めました。「彼女の車にガソリンを入れるだけにした方がよかったかしら、彼女はお金を他のことに使うかもしれないし・・・」とも考えました。

神様は、私たちが自分のしたことの結果を知ることは期待されていません。神様は、私たちが行動を起こす機会をもつことだけを望んでいらっしゃる。あとは、神様がしてくださるのです。

讃美歌 第二編 1

祈り 親愛なる神様。あなたが私に送ってくださった機会がわかるように助けてください。人々があなたを見ることを助けるように、自分の信仰を愛のある行ないとしてあらわす勇気を与えてください。

イエス様の御名において。アーメン。

マーシャ・ダウエル  
テキサス州 ヘロテス

9月13日(水)

## 永遠の慰め

聖書朗読 ヨブ 16：1～11

私たちには、御父の御前で弁護してくださる方がります。それは、義なるイエス・キリストです。  
Iヨハネ 2：1

ヨブの3人の友人は、苦しみはヨブが犯した個人的な罪の結果であるという間違った判断をしました。つらい目に遭うのは、自分の過ちのせいではないかもしれませんが、すべての痛みには罪悪感を付け加える必要はありません。そして、私たちは友人を見せかけや言葉だけではなく、本当に慰めたいと思っています。

今日の聖書の箇所では、ヨブは友人のことを「煩わしい慰め手」と呼びました。病院やお葬式、あるいはそのような場面で適切な言葉を言えますか？ ヨブは望みを神様に投げかけました。たとえ、その結果がどのようなことになるだろうとも。

私たちには、御父の御前で取りなしてくださるイエス・キリストがいてくださいます。私たちは何も恐れることはありません。心を開き、慰めのうちにあることをイエス様に申し上げます。

*自分を取り巻く状況について、何が、どのように、いつなのかを知らなくても、よしとしましょう。*

*神様があなたを抱きしめてくださいます。*

*待つことをよしとすることは、あなたに希望をもたらすことになり、答えや解決を待っている間に、自分に必要なことを考えます。そして、神様はご自身のご存在を私たちに与えてくださいます。*

—————N・ノーマン・ライト

讃美歌 520

祈り 親愛なる神様。主イエス様を通して私に与えられました平安に心から感謝します。イエス様が与え続けてくださいます永遠の慰めに感謝します。

イエス様の御名において。アーメン。

スコット・ウッドリー  
テネシー州 キングストーン

9月14日 (木)

私たちには理由はわかりません

聖書朗読 ヨブ 42:1~6, 12

まことに、私は、自分で悟りえないことを告げました。自分でも知りえない不思議を。  
ヨブ 42:3

スターバックスやマクドナルドでコーヒーを飲みながら、友人とおしゃべりすることがあります。そんなときは、仲間うちで、実際にはたいしてよく知りもしない話題について勝手なことを言いながら時間が過ぎていきます。こういうことに、私は罪悪感を感じますが、あなたはどうですか？

スーパーボール (アメリカンフットボールの試合) から地球温暖化まで、あらゆることについての私たちの勝手な (そして大抵は間違っている) 意見は、仲間うちのお楽しみなのかもしれません。それらは空威張りの非難や、ヨブが神様についてあえて発した蔑むべき質問に比べることができます。

神様は最後にはヨブを沈黙させ、そして、ヨブに自分をわきまえさせる質問の数々を投げかけました。ヨブは自分が神様についてや、今自分がこうむっている災いに神様がどのように関係しているかについても、実際には少ししか知らないことにハッと気づきました。

私たちはみんな、自分が傷ついているときのことはわかりますが、ヨブのように、その理由についてはわかりません。

確信をもって知ることのできる唯一のことは、私たちの困難がどんなに悲惨なものであっても、そして、そのことがどんなに私たちを傷つけようとも、『神がすべてのことを働かせて益としてくださること』です (ローマ8:28)。そして、どんなことも絶対に『高さも、深さも、そのほかのどんな被造物も、私たちの主キリスト・イエスにある神の愛から、私たちを引き離すことはできません。』(ローマ8:39)。

讃美歌 280

祈り 親愛なる主よ。あなたが実際にしてくださるすべてのことは、癒しと助けを与えてくださることなのに、自分が困難にあるとき、あなたのせいにしてしまうことを赦してください。あなたの常に変わらない愛を信頼することを私たちに教えてください。

イエス様の御名において。アーメン。

ジーン・シェルバーン  
テキサス州 アマリロ

9月15日 (金)

神様の名前

聖書朗読 詩篇 9:1~20

御名を知る者はあなたに拠り頼みます。主よ。あなたはあなたを尋ね求める者をお見捨てになりませんでした。  
詩篇 9:10

古代イスラエルにて名前は自分が何者かを示すもの、自分自身を表すものでした。神様の名前を知ることは『主はとこしえの御座に着き、・・・義によって世界をさばき、公正をもって国民にさばきを行われる。』ことを知り、『主はしいたげられた者のとりで、苦しみのおきのとりで。』と認め、『主よ。あなたはあなたを尋ね求める者をお見捨てになりませんでした。』と頼り、『主はご自身を知らせ、さばきを行われた。』と理解し、『貧しい者は決して忘れられない。悩む者の望みは、いつまでもなくなる。』と信じることです。

イエス様は『わたしは、あなたが世から取り出してわたしに下さった人々に、あなたの御名を明らかにしました。』(ヨハネ17:6)とおっしゃっています。私たち、神様を受け入れた人間に神様はご自身のすべてを示してくださるのです。私たちはそれ故、神様の名前に望みをかけるのです。イエス様は仲介者・裁定者であり、私たちはイエス様の名によって祈ります。『あなたがたのすることは、ことばによると行いによるとを問わず、すべて主イエスの名によってなし、主によって父なる神に感謝しなさい。』(コロサイ 3:17)。ハレルヤ、ハレルヤ、全能の主。

讃美歌 287

祈り 天にいます私たちの父よ。私たちがあなたに気づき、あなたを信じられますように。

イエス様の御名により。アーメン。

ハーベイ・フロイド  
テネシー州 ナッシュビル

9月16日(土)

## 神様の下で

聖書朗読 詩篇 15:1~5

こういうわけで、私たちは揺り動かされない御国を受けているのですから、感謝しようではありませんか。こうして私たちは、慎みと恐れとをもって、神に喜ばれるように奉仕することができるのです。私たちの神は焼き尽くす火です。

へブル 12:28~29

誰もが朝起きたとき、「何が今日、自分の人生を導く語り手になるか」という質問の答えを持っています。日々のふるまいは、自分の人生の究極の目的をいかに理解しているかによって決まるでしょう。

「私の何が神様のいらっしゃる人生を生きるのに必要とされるのだろうか」という質問と目覚めるといのはどういうことなのでしょう？ この質問によって何かが変わるのでしょうか。

詩篇作者はそのように考えていました。彼は詩篇15編を、この疑問を二回繰り返すことから始めています。そしてその次に、そんな神様に必要とされる人間がどのように振る舞うか、10の良い状況や悪い状況で語っています。主の御臨在の中で生きるためには良いことを追及するだけでなく、悪から遠ざかることが必要です。

あまりにも、私たちは神様のことを忙しいスケジュールの中でおざなりにしがちです。でも、そんな私たちでも「今日は神様の為の時間を用意できるかな？」と考えることができますでしょう。「どうすればいつも神様と共にいられる人間になれるのだろうか？」と考えられたらなお良いです。へブル人への手紙の筆者は、もうすでに私たちには永遠の王国の居住権が与えられている、と私たちに思い出させます。私たちの言動すべてで神様の偉大さを示せるような、そんな生き方をしましょう。これこそ、神様に喜ばれる確かな献身の姿なのです。

讃美歌 395

祈り 愛なる神様。私たちがあなたのご臨在の内に生きるという素晴らしさを今一度理解できますように。すべての言葉、行いがあなたの愛とあなたへの感謝を表せますように。あなたの栄光の内に生きることができますように。イエス様の御名によってお祈りします。アーメン。

エール・D・ラベンダー

テネシー州 ブレントウッド

9月17日(日)

## 信頼とは？

聖書朗読 詩篇 33:16~22

心を尽くして主に拠り頼め。自分の悟りにたよるな。あなたの行く所どこにおいても、主を認めよ。そうすれば、主はあなたの道をまっすぐにされる。

箴言 3:5~6

神様は私たち人間にとって信頼がいかに大切なのかをご存知です。信頼という言葉は様々に言い換えられますが、神様への信頼についてどのようなものかしっかりと理解していきましょう。

例外なく神様を信じること、このことが神様への信頼の原則です。あなた自身であろうとも、政治家であろうとも、軍隊であろうとも、富であろうとも、他の何物にも誰にも頼ってはいけません。神様一筋でなければならないのです。

神様を信じたとき、私たちは神様がすべてにおいて頼りになることを理解します。神様を信頼したとき、神様は本当に価値あるものをお示しになるのです。神様に拠り頼んだ時、神様はいつもそばにいてくださいます。神様を信用したとき、神様は決して私たちを失望させません。神様に私たちのすべてを託したとき、神様は私たちを高めてくださるのです。

今日の聖書箇所には間違った信頼でない、『われらの助け、われらの盾』なる神様への正しい信頼を示しています。『助け』とは神様が私たちを後押ししてくださること、『盾』とは神様が守ってくださることです。詩篇作者は私たちに神様を恐れ、希望を委ね、訪れを待ち、喜びをもって、そして神様を信頼する素晴らしさを書いています。

讃美歌 297

祈り 父よ。あなたを褒め称えます。あなたは私たちを正しい道へ常に導かれます。どんな時でも私たちがあなたを信頼して歩んでいけますように。

イエス様の御名により。アーメン。

デービット・ギブソン

テキサス州 コンマーシー